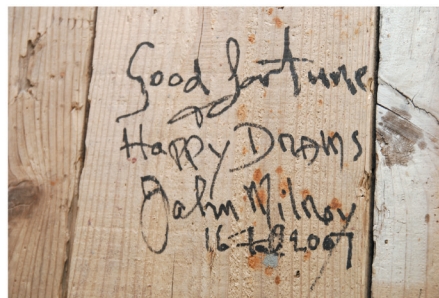




Independent Bottler's Single Malt Whisky

Deep Sessions

JAPAN IMPORT SYSTEM CO.,LTD.



Japan
Import
System

インディペンデント・ボトラー（独立瓶詰業者）について

近年、日本だけでなく全世界的に「シングルモルト・スコッチウイスキー」の人気の高まっています。

その一因として他のウイスキーに比べて嗜好性が強いという点が挙げられますが、その嗜好性を更に高めたのが「ボトラーズ・ブランド」です。

今や一般のお客様にまで広くその存在が認知されており、その魅力が浸透しています。

1. インディペンデント・ボトラー（独立瓶詰業者）とは？

独立瓶詰業者とは、ウイスキーを樽で仕入れ商品化する業者を指します。シングルモルト・ウイスキーは、その商品をリリースしている会社によって、大きく「オフィシャル・ボトル」と「ボトラーズ・ブランド」に分けられます。

- ・オフィシャル・ボトル = 蒸留所（オーナー資本・生産者）が自社で商品化
- ・ボトラーズ・ブランド = 独立瓶詰業者（インディペンデント・ボトラー）が独自に商品化

* オフィシャル・ボトル

普段よく見かけるオフィシャル・ボトルは、自社で蒸留から熟成まで生産工程の全てを管理しているため、その蒸留所が目指す味わいや特徴を知ることが出来ます。

もちろんボトラーズ・ブランドを味わう際の定規的役割も担います。

一部の限定品を除けば容易に入手可能で、また品質・味わいも安定しています。

まさしく「蒸留所の個性」を楽しむ商品であると言えます。

* ボトラーズ・ブランド

ボトラーズ・ブランドは上記独立瓶詰業者が各蒸留所から様々な樽を買い付けるため、商品ラインナップが非常に豊富であることが特徴として挙げられます。

「熟成年数」「アルコール度数」「樽の種類」などバリエーション豊かな商品に加えて、時にオフィシャル・ボトルを入手出来ない蒸留所（例えば既に閉鎖されてしまった蒸留所など）を味わうことが可能です。

またワイン樽によるフィニッシュ（後熟）などボトラー独自の熟成が施されることも多く、まさに熟成庫で眠っている「樽単位の個性」を楽しめる商品と言えます。

2. なぜ今、ボトラーズ・ブランドが売れているのか？…その魅力「シングルカスク」について

シングルモルト・スコッチウイスキーがこれほどまでに世界中に広がっている理由として、「飲んで美味しい」という品質面に加え、その多様性にあると考えられます。

世界5大ウイスキーの中で100以上もの蒸留所が稼働しているのはスコッチウイスキーだけであり、その各蒸留所の個性を楽しめるのがシングルモルトであるからです。

そしてこれこそが、「ブレンデッド・スコッチウイスキー」との最大の違いでもあります。

ウイスキーが嗜好品である以上、消費者がシングルモルトにおける「蒸留所の個性」を楽しく感じて受け入れれば、次の段階として熟成庫に眠っている「樽単位の個性」に興味を持たれるのが自然な流れではないでしょうか。

そしてその味わいは、ボトラーズ・ブランドの「シングルカスク（＝一つの樽）」で味わうことが出来るのです。

多くのボトラーがノンカラーリング（無着色）や、熟成によって出来た旨みを取り除かないようノンチルフィルター（冷却濾過なし）にこだわっており、場合によっては加水せずに樽出しのアルコール度数で瓶詰されています。

樽の中で眠っている原酒をそのまま楽しむという点で、ボトラーズ・ブランドの「シングルカスク」は本物のシングルモルトと言えます。

そして「シングルカスク」だからこそ広がる世界が、ここにあります。

3. JISによるボトラーズ・ブランドの取扱実績と、その姿勢

日本では昭和から平成に元号が変わった頃、酒税が従価税から従量税に大幅に緩和されました。私たちジャパンインポートシステムはその当時から、ゴードン&マクファイル社を始めとするボトラーズ・ブランドの商品の輸入・販売を続けています。当時は「ボトラー」という用語もまだ一般的でない時期でしたが、ボトラー一本一本に詰められた美味しさや楽しさは、近い将来必ず、日本のマーケットで受け入れられると確信しておりました。

その想いの通り、現在では数々の新しいボトラーから様々な商品が輸入されるようになっております。弊社の輸入実績においても前述のゴードン&マクファイル社を筆頭に老舗のボトラーから新興ボトラーまで数十社を数え、アイテムは移り変わりながらも常時数百種類のボトラーズ・ブランドをご提案しています。そしてシングルモルト・ウイスキーを日本に広めた功績から、弊社は2002年にスコットランドより「Keepers of Quaich」を授与されました。

このように、弊社の原点は変わらず「ボトラーズ・ブランド」に、更には「シングルカスク」にあります。これまでのように多くの方が「旨い」と思える商品のご提案を続ける一方で、これまでに見たことがないような新しいものや個性的なもの、全てのハードリカーにおいて最も選択の幅が広いシングルモルトだからこそ、今後も様々な商品のご提案を続けていきます。

4. シングルモルトを愛する、日本のお客様のために …JISとボトラーによる数々の取り組み

2007年には英国の老舗ボトラーであるゴードン&マクファイル社より、1950年代～70年代の古酒のサンプルを60種類以上取り寄せ、専門酒販店の方やモルトウイスキーに詳しいバーテンダーの方を対象に大規模なサンプリングを行いました。その際に評価の高かったマッカラン1971、ストラスアイラ1960、ロングモーン1964、グレンリベット1966、モートラック1969の5つの樽が「シングルカスク」でボトリングされ、日本へ向けてのみ発売することが出来ました。この試みはお客様の多大なご支持を頂き、2008年も再度行う予定であります。

また品質の高さで有名なダグラスレイン社には、日本を「スペシャル海外クライアント」として定めてもらうことが出来ました。モルトウイスキーに関する情報は生産国であるスコットランドを発信源にヨーロッパ諸国で先行します。どうしても日本とスコットランドの距離が縮まらない、という問題に対して、同社は最新商品情報をまず日本へ案内し、加えてそのサンプルを提供する、という取り計らいで応じてくれました。まさに世界に先駆けて日本から情報発信するという、前代未聞のテイスティング会を定期的に行っています。海外からのテイスティングノートではなく、「普段モルトウイスキーを扱っている日本の方が飲んだ、生の声」を商品のご案内時に掲載し、実際に商品をお選び頂く際にご参考頂いております。

輸入業者である弊社の役割は、海外でリリースされた商品をそのままご案内するだけではありません。シングルモルトを愛する、日本のお客様のために。ジャパンインポートシステムでは、これからも様々な機会でご要望にお応えして参ります。



Gordon & MacPhail ゴードン&マクファイル社

※ ゴードン&マクファイル社については、更に詳しい別冊のパンフレットをご用意しております。
ご希望の際は弊社スピリッツチームまでお問い合わせ下さい。

1895年に創業された最も歴史の古い老舗の一つであり、また現在世界で最も知名度が高いボトラー。高級デリカテッセンに端を発した同社は、当時からグレンリベットやストラスアイラ、マッカラン、ロングモーン、リンクウッド、モートラック等の有名な蒸留所と深い関係にありました。また自社で用意した樽に原酒を詰めてもらい独自の熟成を図る、というパイオニアとしての一面も持ち合わせています。

数々のボトラーから様々な商品が輸入されている中、現在のゴードン&マクファイル社はその安定した品質に絶大な信頼が寄せられています。無名蒸留所や既に閉鎖されたもの、更にはオフィシャル・ボトルではリリースされていないアイテムまで幅広いラインナップは圧巻です。

また特筆すべきは古酒のラインナップです。

厳選した樽を長く熟成させることに尽力した結果、第二次世界大戦下における蒸留制限によって非常に稀少となったビンテージの商品までもが、オンリストされています。



Douglas Laing ダグラスレイン社

※ ダグラスレイン社については、更に詳しい別冊のパンフレットをご用意しております。
ご希望の際は弊社スピリッツチームまでお問い合わせ下さい。

1948年にグラスゴーで設立されたボトラーですが、その前身となった会社の歴史は1800年代の後半まで遡ることが出来ます。

アメリカを主な取引先とする海運業者でしたが、当時はブレンドド・ウイスキーの需要が爆発的に高まっており、スコッチウイスキーの輸出業に進出、その時のストックを原点として、ダグラスレイン社の歴史が始まっています。

ダグラスレイン社が日本の皆様に愛されてきた理由は、その突出して高い品質にあります。

「キングオブスコッツ」などのブレンドド・ウイスキーの生産者（ブレンダー）としての一面を持つ彼らは、シングルモルトとしての基準に満たない樽は全てブレンドド・ウイスキーへ回してしまいます。

メインシリーズの「OMC」はもちろん、更に選び抜いた樽から毎回数アイテムのみリリースされる「オールド&レア」は、現在輸入されているボトラーズ・ブランドの中の最高峰と言っても過言ではありません。

コストパフォーマンスの高いプロヴェナンスシリーズに加えて、近年「プレミエバレル」という陶器の商品もリリースしています。



Kingsbury キングスバリー社

ラベルに詳細な情報を記載し、まさに日本におけるボトラーズ・ブランドの先駆者的存在であったキングスバリー社。これまでに意欲的な商品を幅広いレンジでリリースし、そのどれもが高い評価を得てきました。ボトラーズ・ブランドが徐々に広まりつつあった頃から、弊社では様々な商品を皆様にご案内しております。現在の主なラインナップは下記の通りです。

- ・オフィシャル・ボトル価格でありながら良質のボトラーズ商品、というコンセプトの人気シリーズ「セレクション」
- ・「シングルカスク」をテーマに、コストパフォーマンスの良さが際立ったキングスバリー・シングル・カスク＝「KSC」シリーズ
- ・加水せず樽出しのアルコール度数で瓶詰される本格派、ケルト文様のラベルが美しいメインシリーズ「ケルティック」
- ・長期熟成品を中心に、特に品質の高い樽がボトリングされる人気の高いシリーズ「ファイネスト&レアレスト」

オフィシャル・ボトルの延長線上でもある「セレクション」から、最高峰シリーズである「ファイネスト&レアレスト」まで、その多岐に渡る商品群の中に、必ずやお客様がお探しの1本が見つかるはず。是非弊社までリストをご請求下さい！



Murray McDavid マーレイ・マクダビッド社

弊社で正式に取扱を開始したのは2006年1月ですが、それ以前より日本へ輸入され、プロのバーテンダーの皆様を中心に人気を博していたのが、このマーレイ・マクダビッド社です。アイラ島にある今最も先進的な蒸留所・ブルイックラディと資本関係にあり、全てのクオリティー・コントロールは同蒸留所のマスター・ディスティラーでもあるジム・マッキュワン氏が行っています。

シェリー樽の入手が非常に難しい昨今、世界のモルトウイスキーの流れはカスク・フィニッシュに傾きつつありますが、現在のマーレイ・マクダビッド社は、まさにその先駆者として名を馳せています。近年では様々な蒸留所やボトラーでも見受けられるポートパイプやマディラ樽に留まらず、世界各地のワイン樽をフィニッシュに駆使することで、独創的な芸術作品とも言えるボトルが生み出されています。そのワインはソーテルヌやボルドーの5大シャトーにまで及び、日本各地に新たなモルトウイスキーファンを獲得しています。

扱いやすいショートエイジから1960年代のミッション・シリーズまで、是非その手腕を体験して下さい！



Alchemist アルケミスト社

「最高の蒸留酒を吟味し、今まで蒸留酒に縁遠かった方にも幅広くその良さを知ってもらう」ことをコンセプトに設立されたボトラー。オーナーであるゴードン・ライト氏は、スプリングバンク蒸留所の創業者一族で、2001年の新生ブルイックラディ蒸留所の立ち上げにも関わった後、満を持してアルケミスト社を立ち上げました。その経歴から驚くべきことにヘーゼルバーンやポートシャーロット等のリリースも行っております。これまでの主なマーケットは英国内やスカンジナビア（デンマーク、ノルウェー、スウェーデン）でしたが、最近はアメリカやドイツにも広がりを見せています。



Hart Brothers ハートブラザーズ社

ウイスキー界の重鎮であるアリスター・ハート氏とドナルド・ハート氏が運営する、グラスゴーに本拠を置くボトラーがハートブラザーズ社です。アリスター氏は、元ホワイトアンドマッカイのマスターブレンダーとして活躍し、現ブレンダーであるリチャード・パターソン氏にその技術を伝えた実力者。その彼が選びに選び抜いた樽のみがボトリングされます。非常にシンプルなラベルゆえに目立たないボトラーではありますが、他のボトラーでは在庫が尽きかけつつある1970年代を中心に、スコットランド全土を網羅する個性的なラインナップは健在。是非一度リストをご請求下さい。見落としている銘酒が隠れているはずですよ。



Bloomsbury ブルームスバリー社

英国ロンドンの歴史ある酒商、ブルームスバリー社からリリースされるプライベートラベルです。年間出荷量が驚くほど少なく、ニューアイテムを期待しているモルト愛好家の方も多いのですが、厳選した樽のみをボトリングするポリシーをいまだ頑なに守り続けており、近年さらにリリースが少なくなっています。ブルームスバリーといえばシンプルなラベル、そして何よりシェリー樽に高い評価と期待が寄せられていました。現在はシェリー樽に加えて、マルサラ・フィニッシュやアイラのブレンデッドなど、意欲的な商品を時折ボトリングし、新たな一面を覗かせています。



William Cadenhead's ウィリアム・ケイデンヘッド社

ウィリアム・ケイデンヘッド社は、ワインと蒸留酒を扱う業者として1842年にスコットランド・アバディーンで設立されました。1980年以前にウイスキースペシャリストとして自社でモルトの樽を選び瓶詰していたのは、ゴードン&マクファイル社とケイデンヘッド社の2社だけであり、モルトウイスキー業界の老舗・原点という意味において、この2社は現在でも別格扱いされています。当時から主にシングルカスクで瓶詰されており、現在でも樽選びの確かさとその品質の高さは広く知られています。



High Spirits ハイスピリッツ社

1980年代、伝説的なイタリアンボトラーとしてその歴史を創り上げた会社がありました。その名もインタートレード社。

斬新なラベルとクオリティーの高さから幻のイタリアンモルトとも言われるほどでしたが、オーナーであるナディ・フィオリ氏が他事業に専念するため閉社を決定し、残念ながら1990年にインタートレード社は本当の幻となってしまいます。

しかし2000年、氏は新たにハイスピリッツ社を立ち上げます。

モルトウイスキーに関する深い知識と世界的な人脈から驚くべき樽を次々に入手、「ロソフ&キャッスル」というスコットランドの風景画が描かれた斬新なラベルと、当時から変わらない高いクオリティーにより、日本での人気がここ数年で急上昇しています。



Samaroli サマローリ社

サマローリ社は1968年に創業した、イタリア・ブレアにある酒商。80年代から現在に至るまで、リリースされる商品のレベルの高さには驚くべきものがあり、「イタリアン・ボトラー」という一つのスペシャル・カテゴリーを確立させた最大の功労者といっても過言ではありません。

新商品のボトリングは多くても年に2回ほど。

そのリリースを心待ちにしている日本のファンも増えています。他のボトラーからはリリースされないような珍しい蒸留所のボトリングだけでなく、ブレンデッドやバットェッド、近年はラムのボトリングも精力的に行っています。

しかし世界中でカリスマ的な人気を誇るため、十分な本数を確保することが出来ないことが唯一の難点です。



Moon Import ムーンインポート社

そのあまりに独創的なラベルデザインと高品質なアイテムの数々で、ウイスキーという名の芸術品を数多く世に送り出してきたのが、イタリア・ジェノバに居を構えるムーンインポート社です。

社長自らによる1樽1樽のテイスティング、そして納めた物のみをボトリングするクオリティーの高さ。

自分が世に生み出す物に対する、極めて高いこだわりが感じられます。

ムーンインポートの商品は「The Sea」「In the Pink」「The Costumes」「Birds」「The Animals」「Paris」など様々なテーマに添ったラベルでリリースされています。

それぞれのラベルは見ているものを飽きさせない芸術作品といえるもの。まさに世界のモルトウイスキーファンの憧れです。

ここ数年リリースが途絶えていますが、2008年には数年ぶりの新作の入荷を予定しております。



その他の主な取扱ボトラー

英国で最も由緒あるワインと蒸留酒の「英国王室御用達」業者ベリーブラザーズ&ラッド社、「チーフタンズ・チョイス」で広く知られるイアン・マクロード社、アメリカに向けて主に出荷される「スコッツ・セレクション」、ロンドンの酒類専門店「ザ・ウイスキー・エクスチェンジ」のプライベートラベル、革新的なウイスキーを創造するコンパスボックス社、また各ボトラーの別ブランドなどがあります。

株式会社ジャパンインポートシステムでは、これからも品質が高く個性的な商品を、日本の皆様へご案内致します！



(株) ジャパンインポートシステム

〒104-0045 東京都中央区築地4-6-5 TEL:03-3541-5469 FAX:03-3541-8166

<http://www.jisys.co.jp/> E-mail:sp-sl@jisys.co.jp

※ 商品のお問い合わせは、上記連絡先までお願い致します。

※ 特に内容の深い生産者のセミナーや、古酒等のスペシャル・テイスティングを株式会社ジャパンインポートシステムでは“DEEP SESSIONS”（ディープ・セッション）と題しています。
ブコの皆様はもちろん、深い知識と興味をお持ちの一般のお客様に対しても、本物のハードリカーやその生産者と出会える機会をご提供致します。